

めざす子ども像

・ **学びを大切にする園児・児童・生徒**  
 ・ **仲間を大切にする園児・児童・生徒**  
 ・ **命を大切にする園児・児童・生徒**

取組目標

豊かな心を育み、地域を大切にし、たくましく生きる力を持った子どもの育成をめざす学校支援活動の促進と地域全体で展開する美しく、安全・安心な繋がる地域づくり。

## 【今年度の取組紹介】

- ◆コロナ禍の中でも出来ることを模索し、漢字検定の実施、学区ブランドづくりに向けた会議をハイブリッドで開催しました。
- ◆新しくテーマを持った、キャラクター「とみわん」が誕生。昨年美術の授業の課題として地域を見守るキャラクターという課題で広く呼び掛けて誕生しました。今年度はそのキャラクターを使った学区ブランドの立ち上げを計画していましたが、新型コロナの影響もあり生徒を交えての会議が一度しか実施できず、アイデアを出し合うだけで終わりました。
- ◆大学生参画プロジェクトを活用し、一回の会議でしたが、生徒と年が近い学生とのやり取りで、様々なアイデアが出てきたことは、大きな成果でした。



大学生参画プロジェクトで学区ブランド会議の様子

## 【今年度のまとめ】

毎年実施してきた、とみにゃんコンサートが今年度も新型コロナの影響で実施できず、企画から運営までを生徒たちが行ってきていたので、子どもたちが自主的に動ける機会を設けることが少なくなりました。

また、防災フェスタに変わり、子どもたちが自ら学びたいことを自ら考えて行う「学びフェスタ」を計画していましたが、これも新型コロナの影響で実施することが出来ませんでした。

花いっぱい運動は継続でき、季節の花々を子どもたちと地域ボランティアが協働して各校園に植えることが出来ました。

## 【来年度に向けて】

新企画の「学びフェスタ」など、小学生時代からボランティア活動を続けてくれた生徒が3年生になるので、夏休みが終わるまでに彼らの活動できる場を設けるよう、今から検討を進めています。新型コロナ禍でも子ども達と一緒に出来ることを、児童生徒を巻き込み、一緒に考えた取組を進めていきます。継続的に行ってきている漢字検定や花いっぱい運動は引き続き実施します。

めざす子ども像

## 学びを大切にする園児児童生徒 仲間を大切にする園児児童生徒 命を大切にする園児児童生徒

取組目標

子どもたちが地域とのつながりを意識できる

学習環境整備・取組を充実する。

### 【今年度の取組紹介】

- 環境整備・栽培事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な学校活動が制限されることが数多くありましたが、人的・物的支援をいただき、地域の「花いっぱい運動」と生徒会活動、「とみにゃんクラブ」の活動を行いました。昨年度と同様に、温もりのある美しい学習環境づくりを進めることができています。
- 地域教育協議会主催で行われる予定であった「学びフェスタ」が中止となり、地域と学校の連携や交流する機会がほとんどありませんでした。しかし、前年度から取り組んできた地域教育協議会の新しいキャラクターの「とみわん」がお披露目されました。この「とみわん」は、地域の見守りや安全の周知を行う目的で作成され、今後は、「とみにゃん」と共に地域キャラクターとして地域の安全・安心の広報活動として活躍してくれることとなります。



### 【今年度のまとめ】

本中学校区では、地域行事や地域教育協議会主催の行事への協働体制が定着しておりました。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症により、学校行事の中止や制限により、学校活動を積極的に関わってくださる地域の方々との交流や協働の場がなくなってしまいました。無念さは残りますが、地域と学校が工夫しながら、今できることを考え、精一杯取り組むことができました。

中学校区に定着してきたマスコットキャラクター「とみにゃん」に続き、本校生徒が考案した校区の安全を見守る新キャラクター「とみわん」が加わり、地域と学校が今まで同様に安全に対する意識を高めました。

本事業による人的・物的支援により、本校のめざす「美しい学校」づくりを充実し、推進しました。

### 【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域とともに子どもたちを育成する視点に立ち、本中学校区のフェスタを開催するなど、キャラクターを活かした広報活動を積極的に行います。また、これまで以上に学校と地域が連携し、子どもたちの「学び」「仲間」「命」を大切にする力を伸ばし、主体的に行動できるように工夫しながら、育てていきたいと考えています。

めざす子ども像

## 学びを大切にする園児児童生徒 仲間を大切にする園児児童生徒 命を大切にする園児児童生徒

取組目標

- ・読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。
- ・地域の方々とのふれあいを通して、  
コミュニケーション能力を高める。

### 【今年度の取組紹介】

今年度も「人とふれあい 地域とつながる」をコンセプトに計画しました。しかし、コロナ禍において、「実施できること」や「実施できる方法」、そして「今後も持続可能な事業としての在り方」を模索する中で、「チャレンジタイム事業」等の体験学習、「ファンタジータイム事業」の読書活動の推進、「環境整備事業」の教育環境を充実させる活動は、コロナ感染予防に留意しながら行うことができました。学校生活においてコミュニケーション活動の制限があり、リモートによる学習をせざるを得ない中、「リアルに本物を体験できること」、「子どもたちの学びの教育条件を整える環境整備」は、今の本校児童にとって大変貴重なことだと思います。それを地域の方々と共に実施できたことは、大変意義あることでありました。

### 栽培体験学習事業 ファンタジータイム事業 チャレンジ事業

ファンタジータイム事業として図書館司書さんと協働して、図書室の集中整備を行いました。また、栽培体験学習（イチゴづくり）、チャレンジタイム事業（戦争体験の聞き取り、地域学習、福祉体験学習）を地域の方々の協力の下、実施することができました。



### 【今年度のまとめ】

「地域の環境を生かした体験活動」「読書環境の充実」「校内および地域の環境整備事業」「楽器演奏体験やお茶の体験など地域の人材を生かした学習」「放課後学習の充実」を柱に、学校・保護者・学生・地域が協働して様々な取組を推進しようとしてきました。しかし、コロナ感染予防に留意する中で、楽器演奏体験やお茶体験や、学生ボランティアに来ていただく放課後学習はできませんでした。コロナ禍で実施できたどの取組でも、子どもたちからは、「すごく楽しかった。」「地域の方に教えてもらって良く分かった。」「図書館がきれいになってうれしい。」等の声がきかれました。児童に自分が住む地域への関心を深め、地域の中で生きているという意識を持たせることができたと感じます。地域の方々が学習活動に参加していただくことで、本校教育への理解を深めていただくことにもつながったと感じました。

### 【来年度に向けて】

あたえられた環境の中とコロナ感染予防に留意し、持続可能な事業の在り方を模索しながら、活動内容を深化発展させていきたいと思っています。そして、地域・保護者・学校・行政が協働して教育目標の達成に向かって進めていきたいと思っています。

めざす子ども像

- ・ 学びを大切にする園児・児童・生徒
- ・ 仲間を大切にする園児・児童・生徒
- ・ 命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標

体験 発見 創造ひろがる「三碓学習」

歴史ある「みつがらす」地域とのつながりを大切にした学習環境の整備に取り組み、子どもたちが「みつがらす」に愛着と誇りを感じることのできる取組にする。

## 【今年度の取組紹介】

今年度もコロナ禍の中スタートすることになりました。そんな中でも「三碓の町たんけん」「いのちの学習」「三碓（なら）の祭り」「むかしあそび」「伝統文化～書道」「人権と平和」「米作り」など各学年で、テーマに基づき、できる形で行おうと考えました。しかし、感染拡大が頻繁に繰り返され地域との交流を含む学習活動が大きく制限されました。本年度も、田植えや稲刈りで密になってしまう5年生の「米づくり」と休校中の近畿大学との共同で進める「環境学習」が行えなくなりました。

今年度も地域の田んぼではなく、「三碓の里山」事業に田んぼづくりを加えて、校内の中庭に田んぼを造成しました。地域の方やJAの方にご協力をいただきながら、土づくりから田んぼの水の管理を子どもたちとともにを行い、間近で稲の成長を見ることができました。思ったよりもたくさんのお米がとれ、脱穀・精米を行い、家庭科の学習で食すことができました。

また、豊かな感性や情操を育む事業として、1年を通しての「図書ボランティア」によるより使いやすい図書室への改装と「校内緑化」及び「校内環境整備」事業を進めました。



## 【今年度のまとめ】

「学び」「仲間」「いのち」を大切にする感性豊かな子どもを育成することは、本校保護者をはじめ地域の方々の強い願いです。今年度は、コロナ禍で例年通りに行えなかった分、どうすればよいか改めて考える良いきっかけにもなりました。地域を愛する方々とともに実体験をした児童は、「みつがらす」という郷土とともにそこに暮らす人々を愛し、誇りをもつことができました。

ボランティアの方々と進めてきた「校内緑化・環境整備事業」が根付き、今年度は地域の力をお借りすることがあまりできませんでした。子どもたちが自ら企画・作業を行い、新しく田畑や花壇・寄せ植えを作り、育てました。子どもたちが「主体的に考える」取組を行うことができました。

## 【来年度に向けて】

実体験ができる「環境」と「人」の提供を目指して取り組んでいますが、来年度も今年のように人との接触が制限されるようであれば、ICTの活用も視野に入れて検討していこうと考えています。また、校内緑化・整備事業や地域と学ぶ三碓学習などは継続的に推進し、「学び」「仲間」「いのち」を大切にできる児童の育成に努めていきます。地域の方々と連携し進めていきたいと考えています。

めざす子ども像

**学びを大切にする 園児児童生徒**  
**仲間を大切にする 園児児童生徒**  
**命を大切にする 園児児童生徒**

取組目標

- ・ 自分も友達も大切にし、なかまと楽しく遊ぶ
- ・ 自分の思いをのびのびと表現する
- ・ 自ら考え、意欲的に取り組む

## 【今年度の取組紹介】

## &lt;お話しの会&gt;

毎年、年に5回程度、園に『野の花文庫』さんが来てお話をして下さいます。今年も素話や紙芝居、パネルシアターなど年齢や季節に応じた昔話から外国の話まで幅広いジャンルの話にふれる機会を得る事ができました。蝋燭の暖かい炎に包まれ神秘的な雰囲気の中で、デジタルとは違った温もりのある心地よい声に子ども達は、お話の世界に引き込まれていきました。この経験の積み重ねは、子ども達の豊かな想像力を育み、人の話を聞く力につながっていきました。



## &lt;ヒップホップ教室&gt;



講師の『山本三歌代』先生にお越しいただき、軽快な音楽に合わせたダンスや体幹トレーニングなど毎回楽しく学びました。運動参観では、親子で出来る簡単な体幹トレーニングなどを教わりました。この経験は、忙しい日々でも、隙間時間に少しでも親子でふれあうきっかけとなりました。ヒップホップ教室を通じ先生には、『ルールを守る事の大切さ』『瞬発力UP』『体幹の大切さ』などを教えてもらう事が出来ました。子ども達は、日々の生活の中で毎日、友だちと一緒に体を動かす楽しさを味わっています。

## 【今年度のまとめ】

小規模園という事もあり、講師の先生や地域の方々には、一人一人に応じた言葉がけや丁寧に関わって下さる事で、子ども達が様々な活動に興味や関心をもち、何事にも自分なりにやってみようとする姿につながりました。また、園児達も自分から積極的に挨拶する姿も見られるようになり、周りの方々に信頼をよせ、地域を理解し地域に愛着を感じる事ができました。

## 【来年度に向けて】

3月末をもちまして閉園となりますが、今まで地域の方々に関わってもらい教えていただいた事は、子ども達の見えない財産となりました。

めざす子ども像 **・ 学びを大切にする園児児童生徒**  
**・ 仲間を大切にする園児児童生徒**  
**・ 命を大切にする園児児童生徒**

取組目標 **ぐんぐん 伸びよう 笑顔 いっぱいタイム**

#### 【今年度の取組紹介】

地域ボランティアの方、ゲストティーチャーの方との交流を通して、人と関わる喜びを味わい、子ども達の笑顔溢れる体験を積み重ねていけるように活動してきました。

地域の方とのふれあい事業“おはなしの広場”“とみなん文庫”

子ども達は、絵本やお話を聞くことが大好きです。「今日はどんな絵本を読んでもくれるのかな。」「はやく見たいよ。」と“おはなしの広場”をととても楽しみにし、“野の花文庫”さんのお話の時間が始まるロウソクの火が灯ることを合図に、子ども達は絵本の世界に入り込んでいました。子ども達の発達や季節に合わせたお話を選んで読み聞かせてくださる時間は、子ども達の想像力を掻き立てると共に、興味や関心を高める姿につながりました。



また、保護者の方もすすんで絵本コーナーの環境整備や絵本の補修、管理などを行っていただきました。選びやすくなった絵本コーナーで「この絵本読みたい。」「これがお勧めの絵本なんだって。」と、子ども達の興味の幅が広がり、友達や親子での会話が増えたようです。“とみなん文庫”で貸し出した絵本を通して親子でのふれあいの時間をもつことができ、豊かな心

を得ることにつながりました。

地域の方とのふれあい事業“イチゴ・サツマイモ・タマネギの栽培”

年間を通して計画を立て進めてきた“わくわく畑”での野菜や果物の栽培

は、「どうやってイチゴを摘むの?」「おいしいお芋、たくさん掘れたらいいね。」と知りたいことを質問したりして、地域ボランティアの方との交流の機会となり、一緒に育ててくださることに地域の方のあたたかさを感じながら、親しみと感謝の気持ちをもつことができました。子ども達は、地域の方が来てくださることをとても楽しみにし「よろしくお願ひします。」と、自然と挨拶が聞こえるようになりました。



#### 【今年度のまとめ】

昨年度に引き続き、コロナ禍での活動となりましたが、園・地域・保護者が連携し、今できることは何かを考え、例年の活動方法にとらわれず、子ども達の豊かな学びとなるように、いろいろなアイデアや方法を考えて、子ども達の“わくわく・ドキドキ・やってみたい”の意欲を引き立て、取り組むことができました。

#### 【来年度に向けて】

友達と一緒に、いろいろな方と関わりながら活動する楽しさ、充実感を味わえるような活動、また様々なことに興味・関心をもち主体的に物事に関わる体験を年間計画に位置付け、計画的に取り組んでいきたいです。

めざす子ども像

**学びを大切にする園児児童生徒****仲間を大切にする園児児童生徒****命を大切にする園児児童生徒**

取組目標

人や自然との豊かなふれあいができる環境を整え、地域とのつながりを感じられる取組を行っていく。

**【今年度の取組紹介】**

・フープやわんぱくキッズの講師の先生に来て頂き、運動あそびを楽しみました。運動が苦手な子ども達にも無理に頑張らせるのではなく、大切なのは、本人が楽しいと感じる遊びをやらせてあげること。一人一人のしていることをほめてあげることで、色々な遊びに自然と参加できるようになっていました。また、成功することを繰り返していく中で、次は努力してでも「やってみたい」「もっとやりたい」という気持ちももてるように進めてくださっていました。子ども達は、最後まで生き生きとした表情で楽しく参加していました。

・今年は、さつまいも作りを中心に菜園活動をしました。畑全体に、子ども達でさつまいもの苗を植えました。苗の植え方を地域の方に教えて頂きました。暑い日も水やりをしたり、草引きをしたりと、たくさんの大きなさつまいもに育ってほしいという願いをもって、活動も頑張っていました。成長していく中で、発見や変化を感じることができました。色々な形のさつまいもを沢山収穫することができました。収穫してすぐに焼いて食べたさつまいもの味は、「甘くておいしい。もっと食べたい」と大喜びでした。

**【今年度のまとめ】**

・身近に畑がある環境の中で、地域の方に教えてもらいながら、さつまいもや夏野菜の苗を植え、世話をし成長を観察してきました。その中で、驚きや不思議を感じたり、収穫への期待や収穫の喜びを感じたりすることができました。

・運動あそびやおはなしの会の方に来ていただくことで、楽しく体を動かせたり、地域の方を身近に感じながら、いろいろなお話に興味を持ったりすることにつながりました。

**【来年度に向けて】**

・今後もコロナウイルス等の感染症対策を徹底したうえで、地域の方とのつながりをもつ機会を増やせるように取組の工夫をしていきたいです。

・学園南こども園での取組を地域の方々に知って頂ける広報活動を計画していきたいです。